

VC2404GE

ユーザーズマニュアル

(取扱説明書)

2023年 7月 第2版

注 意

- ・ご使用前に必ずこのユーザーズマニュアルをよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・お読みになった後は、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

廃棄方法について

本装置を廃棄する時は、地方自治体の条例に従って処理してください。
詳しくは、各地方自治体へお問い合わせください。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電磁妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

リバースエンジニアリングに関する禁止事項

本装置のソフトウェアに対して、逆アセンブル、逆コンパイルなどのリバースエンジニアリングは禁止されています。

ご 注 意

1. 本マニュアルの内容の一部、または全部を無断転載、複写およびいかなる方法による複製も禁止します。
2. 本マニュアルの内容に関し予告なしに変更することがあります。
3. 本マニュアルの内容は万全を期して作成しましたが、万一御不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、購入先又は販売店までご連絡ください。
4. 本装置を運用した結果の影響については責任を負いかねますので御了承ください。
5. 許可なく改造、変更を行った場合、動作の保証は致しかねます。
6. 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。
これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、弊社製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害等が生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
設備や機器、制御システムなどにおいては、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるよう御注意願います。
7. 本マニュアルについて弊社の許可なく複製・改変等をおこなうことはできません。

使用上の注意事項

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を示しています。

使用している表示と図記号の意味は次の通りです。内容をよく理解してから、マニュアルをお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。
	誤った取扱いをすると、発火の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取扱いをすると、感電の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取扱いをすると、けがを負う可能性が想定されることを示しています。
	安全のため、機器を水場で使用することを禁止することを示しています。
	安全のため、機器を分解することを禁止することを示しています。
	安全のため、電源プラグを必ず AC コンセントから抜くように指示するものです。

<電源に関するご注意>

 警告	
 	<p>本装置の電源は、AC100V±10V(50/60Hz)及び DC48V±10%の電源以外では、絶対に使用しないでください。</p> <p>異なる電圧で使用すると、火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから AC コンセントに差し込んでください。</p> <p>また、半年から一年に一回は、電源プラグを点検してください。点検に関しては購入先又は販売店にご相談ください。</p> <p>ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。</p>
 	<p>電源プラグは AC コンセントに確実に差し込んでください。</p> <p>電源部の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。</p>
	<p>濡れた手で電源部を触らないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>
 	<p>AC3 極ケーブルの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。</p> <p>AC コンセントが過熱し、火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>AC3 極ケーブルを加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。</p> <p>AC3 極ケーブルの破損による火災、感電の原因となります。</p>

 	<p>電源ケーブルの上にものを載せないでください。</p> <p>電源ケーブルの破損による火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。</p> <p>AC3 極ケーブルの損傷による火災、感電の原因となることがあります。</p>
 	<p>本装置に添付している AC 電源ケーブルは、本装置専用の電源ケーブルです。</p> <p>本装置への AC 電源供給は、本装置に添付している電源ケーブルを使用してください。</p> <p>また本装置に添付しているケーブルを他装置の電源供給に使用しないでください。</p> <p>火災、感電の原因となることがあります。</p>
	<p>電源ケーブルが電源に接続してあるときは、濡れた手で本装置に触れないでください。</p> <p>感電の原因となります。</p>

 注意	
	<p>本装置をご使用にならないときは、安全のため必ず電源ケーブルを電源から外してください。</p>

＜保管および使用環境に関するご注意＞

 警告	
	<p>本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など、液体の入った容器を置かないでください。</p>
	<p>液体などが本装置に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。</p>
	<p>本装置をふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度 90%以上）では使用しないでください。</p>
	<p>火災、感電の原因となります。</p>
	

 注意	
	<p>本装置や AC3 極ケーブルを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。</p>
	<p>AC3 極ケーブルの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。</p>
	<p>火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>

	<p>本装置を直射日光の当たるところや、温度の高いところ（45℃以上）に置かないでください。</p> <p>本装置内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置の側面・背面にある通風孔には物を置かないでください。</p> <p>本装置の側面・背面にある通風孔をふさぐと内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。</p> <p>落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。</p> <p>落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置は、卓上設置の場合は底面が下になるように設置してください。</p> <p>正しく設置しないと転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p>
<p>本装置をラジオやテレビなどのすぐそばで使用すると、ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。また、強い磁界を発生する装置が近くにあると、逆に本装置に雑音が入ってくることがあります。このような場合は離して使用してください。</p>	

<禁止事項>

 警告	
 	<p>本装置内部の点検、調整、清掃、修理は、危険ですから絶対にしないでください。</p> <p>本装置の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。本装置内部の点検、調整、清掃、修理は、購入先又は販売店に依頼してください。</p>
 	<p>本装置の側面・背面にある通風孔など開口部から、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>
  	<p>本装置内部の分解・改造は絶対にしないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となります。</p>
 	<p>本装置に水や液体などを入れたり、本装置を濡らすなどは絶対にしないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となります。</p>

 **注意**



本装置の上にものを載せたり、本装置に乗ったりしないでください。

特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
破損等により、けがの原因となることがあります。

<異常時およびトラブルに関するご注意>

 警告	
  	<p>万一、本装置を落としたり、破損したりした場合、電源ケーブルをはずして、購入先又は販売店にご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>万一、本装置の内部に水などの液体が入った場合は、電源ケーブルを外し、購入先又は販売店にご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>万一、異物が本装置の内部に入った場合は、電源ケーブルを外し、購入先又は販売店にご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>電源ケーブルが傷んだときは、すぐに電源ケーブルを外し、購入先又は販売店に修理を依頼してください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>

	<p>万一、本装置から煙が出ている、変な臭いがするなどの、異常状態のときは、すぐに電源ケーブルを外し、煙が出なくなるのを確認して、購入先又は販売店に修理をご依頼ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>
---	---

 注意	
	<p>落雷の恐れのあるときは、必ず電源ケーブルを外してご使用をお控えください。</p> <p>落雷時に、火災、感電の原因となることがあります。</p>
	<p>雷が鳴っているときは、電源ケーブルに触れたり、本装置に接続をしたりしないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>

<お手入れに関するご注意>

 **注意**



本装置のお手入れをする際は、安全のため必ず電源ケーブルを、外してください。

ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、変形や変色の原因となることがあります。また、殺虫剤などをかけた場合も変形や変色の原因になることがありますので注意してください。

アフターサービスについて

本製品についてのお問い合わせ、及び本製品の修理品についてのお問い合わせについては、お買い求めの販売店へお願いいたします。

目次

ご注意.....	1
使用上の注意事項.....	2
アフターサービスについて.....	12
目次.....	13
第1章 はじめに.....	14
1.1 マニュアルについて.....	14
1.2 装置の概要.....	15
1.3 装置の構成.....	15
第2章 操作と表示.....	16
第3章 機能.....	18
3.1 仕様.....	18
3.2 設置条件.....	21
3.2.1 環境条件.....	21
3.2.2 設置場所.....	21
3.3 設置方法.....	22
3.3.1 卓上設置.....	24
3.3.2 ラック搭載.....	26
3.4 装置の立上げ.....	28
第4章 装置管理機能へのアクセス.....	29
4.1 設定手順.....	29
4.1.1 設定の準備.....	29
4.1.2 シリアルコンソールによるアクセス.....	30
4.1.3 TELNET によるアクセス.....	30
4.1.4 接続セッション数.....	30

第1章 はじめに

ここでは、本ユーザーズマニュアルおよび製品概要について説明します。ご使用になる前にお読みくださるようお願いいたします。

1.1 マニュアルについて

本マニュアルは、VC2404GE の機能および取扱方法について説明するものです。構成は以下のとおりです。

「第1章 はじめに」では、マニュアルの内容および製品概要について説明します。

「第2章 操作と表示」では、外観上の操作部および表示部について説明します。

「第3章 機能」では、本装置の機能概要について説明します。

「第4章 装置管理機能へのアクセス」では、本装置の運用関連の設定方法について説明します。

1.2 装置の概要

本装置は、10M/100M/1000Mbps ポート(RJ45)を 24 ポート、SFP+ポートを 4 ポート搭載しており、主な L2SW 機能として、

- ・ MAC アドレスフィルタリング機能
(学習機能、スタティック MAC アドレス登録機能)
- ・ VLAN 機能
(ポートベース VLAN、タグ VLAN)
- ・ ポート単位の帯域制御機能
- ・ ACL 機能
(登録条件[送信 MAC・受信 MAC・VID 等]に一致したパケットに対して
ルール機能に設定[削除・情報付加等]した動作を行う)
- ・ IGMP Snooping 機能
- ・ スパニングツリー
- ・ QoS 機能(6 クラス)
- ・ 監視/管理機能 (CLI、TELNET、SNMP)

等の機能を有しております。

1.3 装置の構成

本装置の構成を以下に示します。「表 1 構成品一覧」に基づき品物の不足・破損を確認してください。万一、品物の不足・破損がある場合は、購入先又は販売店までご連絡をお願いいたします。

表 1 構成品一覧

構成品名	数量	記事	
VC2404GE 本体	1		
AC3 極ケーブル	1		添付品
電源ケーブルバンド	1		
19 インチラック取付用金具	2		
19 インチラック取付用金具取付用ネジ	8	M3×6	
ゴム足	4		
コンソールケーブル	1		
VC2404GE	1		
安全にお使いいただくために			

第2章 操作と表示

ここでは、本装置の外観上の操作部および表示部について説明します。本装置の前面部分を以下に示します。これら名称と機能は、「表2 前面各部の名称と機能」、「表3 背面各部の名称と機能」を参照してください。

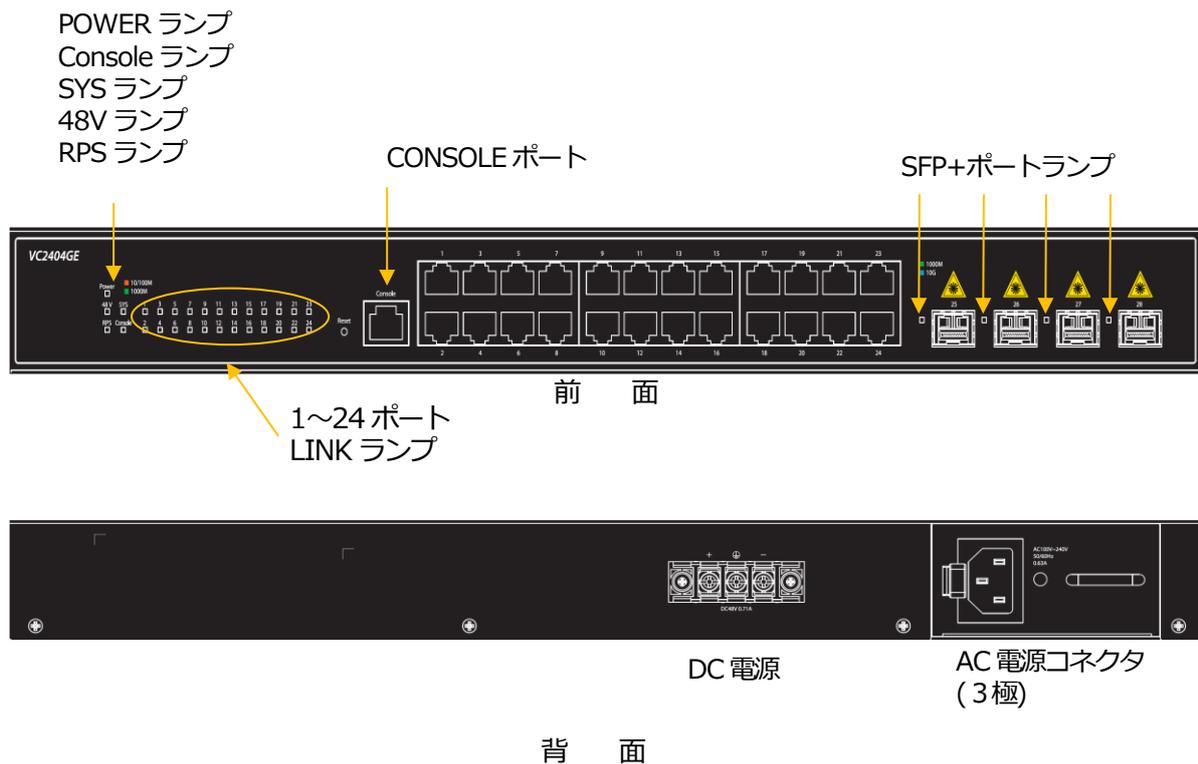


図 1 装置の前面/背面

表 2 前面各部の名称と機能

名称	表示	機能説明	備考
Consoleポート	Console	保守/設定用の CONSOLE ポートです	RJ45
Power ランプ	Power	電源の ON/OFF 状態を示すランプです 点灯：電源が投入されています (緑) 消灯：電源が投入されていません	
Console ランプ	Console	点灯：Console ポートのリンクが確立しています (緑) 点滅：電源投入後のセルフテスト中です (緑) 消灯：Console ポートのリンクが未確立です	
SYS ランプ	SYS	点灯：(緑) 点滅：電源投入後のセルフテスト中です (緑) 消灯：	
48V ランプ	48V	点灯：DC48V で動作しています (緑) 点滅：(緑) 消灯：	
PRS ランプ	PRS	点灯：(緑) 点滅：(緑) 消灯：	
1~24 ポート ランプ	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	緑点灯：1000Mbps でリンクが確立しています 緑点滅：1000Mbps でデータ転送しています 黄点灯：10/100Mbps でリンクが確立しています 黄点滅：10/100Mbps でデータ転送しています 消灯：リンク未確立状態	
25~28 ポート ランプ	25 26 27 28	青点灯：10Gbps でリンクが確立しています 青点滅：10Gbps でデータ転送しています 緑点灯：1000Mbps でリンクが確立しています 緑点滅：1000Mbps でデータ転送しています	

表 3 背面各部の名称と機能

名称	表示	機能説明	備考
AC 電源 インレット	AC IN	AC 電源ケーブルを接続するコネクタです	3 極
DC 電源 端子台	DC IN	DC 電源ケーブルを接続する端子台です	M3.5 端子台

第3章 機能

ここでは、本装置の機能概要について説明します。

3.1 仕様

本装置の仕様を以下に示します。

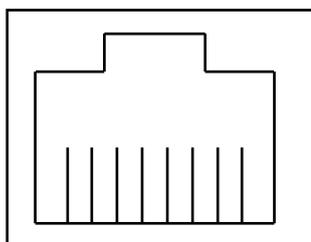
表 4 仕様一覧

項目		仕様
インターフェイス	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	24ポート
	SFP+スロット	4ポート 対応：1000BASE-SX/LX SFP、10GBASE-SR/LR SFP+モジュール
コンソール	RS-232C	1ポート
スイッチ性能	スイッチング容量	128 Gbps
	フォワーディングレート (64byte)	95 Mpps
	スイッチングモード	ストア&フォワード方式
	フラッシュメモリー	32 MB
	SDRAM	256 MB
L2スイッチ機能	最大学習MACアドレス	16384
	スタティックMACアドレス登録	256
	フローコントロール	802.3x バックプレッシャー HOLブロッキング防止
	ジャンボフレーム転送	10240byte
	IGMP Snooping	v1、v2、v3 最大256グループ
	MLD Snooping	v1、v2 最大256グループ
	スパンニングツリー	802.1Q 2005 (STP/RSTP/MSTP)
	802.3adリンクアグリゲーション	8グループ/デバイス、8ポート/グループ、スタティック設定
	ミラーリング	送信、受信、送受信
	VLAN機能	VLAN種別
Tagged VLAN		1~4096 最大256グループ
QoS機能	キュークラス(ポート単位)	8クラス
	フォローモード	Strict、Weighted Round Robin(WRR)、Strict + WRR
	帯域制御	RJ-45 :64~1000000 Kbps SFP+ :64~5000000 Kbps
	CoS	IEEE802.1pプライオリティ、DSCP、IP Precedence、リマージング
ACL	設定可能数	14プロファイル、1792ルール
	定義パラメータ	MACアドレス、イーサタイプ、VLAN ID、802.1pプライオリティ、IPv4・IPv6 アドレス、ToS、プロトコル、ポート番号、TCPフラグ、ICMPタイプ/コード
監視制御機能		CLI、WebGUI、Telnet、SNMP(v1/v2c/v3)、SSHv2、TFTP、LLDP、RMON
セキュリティ		認証：ポートベース認証、MACアドレス認証、Webベース認証、Guest VLAN、トラフィックセグメンテーション、ポートセキュリティ、ブロードキャスト / アンノウンマルチキャスト/アンノウンユニキャストストームコントロール、アクセス認証：RADIUS、TACACS+、DoS、DHCPスヌーピング、IPソースガード、DAI
その他		UDLD、SNTPクライアント、ログ、syslog、MVR
動作環境	温度条件	0~45℃
	湿度条件	10~90%(非結露)
	浮遊塵埃	一般事務室程度
外形寸法		441(W)×221(D)×44(H)mm 突起物含まず
質量		3.5kg以下 梱包物含まず
使用電源定格		AC100V+/-10V 50/60Hz
消費電力		34W以下
冷却方式		自然空冷
適合規格		VCCI ClassA
省エネ法	区分	A
	最大実行転送速度	64Gbps
	エネルギー消費効率	0.53W/Gbps
	測定ポート数/速度	10Gbps×4ポート、1Gbps×24ポート

1) 1～24ポート

- ・MDI-Xのピンアサイン (10BASE-T/100BASE-TXの場合)
 - ・MDI-X設定、またはAuto設定でMDI-Xのとき

表 5 MDI-Xのピンアサイン

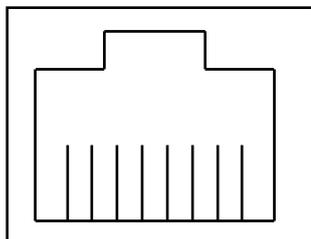


8 7 6 5 4 3 2 1
図 2 RJ-45 コネクタ

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	RX+	I	受信データ+
2	RX-	I	受信データ-
3	TX+	O	送信データ+
4	—	—	—
5	—	—	—
6	TX-	O	送信データ-
7	—	—	—
8	—	—	—

- ・MDI-Xのピンアサイン (1000BASE-Tの場合)
 - ・Up / DownポートがMDI-X設定、またはAuto設定でMDI-Xのとき

表 6 MDI-Xのピンアサイン

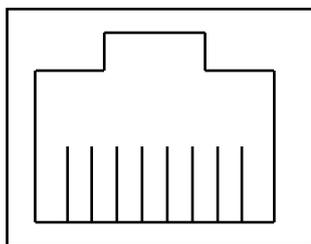


8 7 6 5 4 3 2 1
図 3 RJ-45 コネクタ

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	TP1+	I/O	—
2	TP1-	I/O	—
3	TP0+	I/O	—
4	TP3+	I/O	—
5	TP3-	I/O	—
6	TP0-	I/O	—
7	TP2+	I/O	—
8	TP2-	I/O	—

- ・MDIのピンアサイン (10BASE-T/100BASE-TXの場合)
 - ・MDI設定、またはAuto設定でMDIのとき

表 7 MDIのピンアサイン

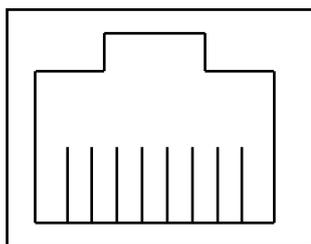


8 7 6 5 4 3 2 1
図 4 RJ-45 コネクタ

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	TX+	O	送信データ+
2	TX-	O	送信データ-
3	RX+	I	受信データ+
4	—	—	—
5	—	—	—
6	RX-	I	受信データ-
7	—	—	—
8	—	—	—

- ・MDIのピンアサイン (1000BASE-Tの場合)
 - ・Up / DownポートがMDI設定、またはAuto設定でMDIのとき

表 8 MDIのピンアサイン



8 7 6 5 4 3 2 1
図 5 RJ-45 コネクタ

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	TP0+	I/O	—
2	TP0-	I/O	—
3	TP1+	I/O	—
4	TP2+	I/O	—
5	TP2-	I/O	—
6	TP1-	I/O	—
7	TP3+	I/O	—
8	TP3-	I/O	—

2) 27～28ポート

SFPポートのピンアサインに関しては、ご使用のSFPメーカーの取り扱い説明書を参照願います。

設置と接続

ここでは、本装置の設置方法、ケーブル類の接続方法および装置起動について説明します。

3.2 設置条件

3.2.1 環境条件

温度：0～45℃（19 インチラック搭載時の温度条件は「0～35℃」になります）

湿度：10～90%（非結露）

3.2.2 設置場所

注意



本装置は以下の場所に設置してください。以下の場所以外に設置すると、本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく恐れがあります。

- ・水や薬品等液体のかからないところ
- ・ほこりや塵の入らないところ
- ・適切な温度・湿度環境のところ
- ・通気性の良いところ
- ・無線機やテレビなど電磁波や磁気の影響を受けないところ
- ・振動がなく安定したところ

3.3 設置方法

本装置の設置方法には、卓上設置、ラック搭載および壁掛け設置の3種類があります。
以下は、本装置の設置に関する注意事項です。よくお読みになってから設置を行ってください。

 警告	
 	本装置をラックへ搭載する場合、ラックへの取り付け/取り外しは、設置ご担当者以外は絶対に行わないでください。 感電、けが、故障の原因となります。
 	本装置を壁掛け設置する場合、壁への取り付け/取り外しは、設置ご担当者以外は絶対に行わないでください。 感電、けが、故障の原因となります。

 注意	
 	<p>本装置をラックに搭載する場合は、確実にネジ止めを行ってください。</p> <p>ネジ止めがゆるいと本装置が落下して、感電、けが、故障の原因となることがあります。</p>
 	<p>本装置を壁掛け設置する場合は、本装置に壁掛金具（別途購入要）を確実にネジ止めし、ボルトでしっかりと壁に固定してください。</p> <p>ネジ止めや、ボルトの固定がゆるいと本装置が落下して、感電、けが、故障の原因となることがあります。</p>
  	<p>本装置の側面・背面にある通風孔をふさがないでください。</p> <p>通風孔をふさぎますと内部の温度が上がり、火災、感電、けが、故障の原因となることがあります。</p>

3.3.1 卓上設置

卓上設置とは、本装置をテーブルなどの安定したものの上に設置する方法です。なお、卓上設置をする際は、設置前に本装置底面に付属のゴム足を貼付します。
本装置の卓上設置例を以下に示します。

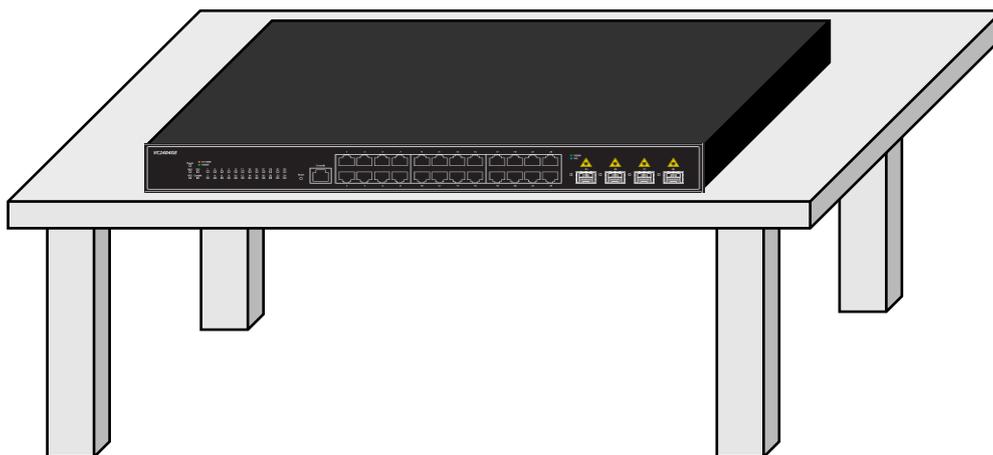


図 6 卓上設置の例

⚠ 注意	
	設置の際は、以下の注意事項をお守りください。 <ul style="list-style-type: none">・本装置の周囲に 100mm 以上の空間を設けてください。・本装置の上には物品等をのせないでください。本装置の性能劣化を招くおそれがあります。・本装置を縦置き状態では使用しないでください。

・ゴム足の貼り付け

ゴム足の貼り付けを以下に示します。

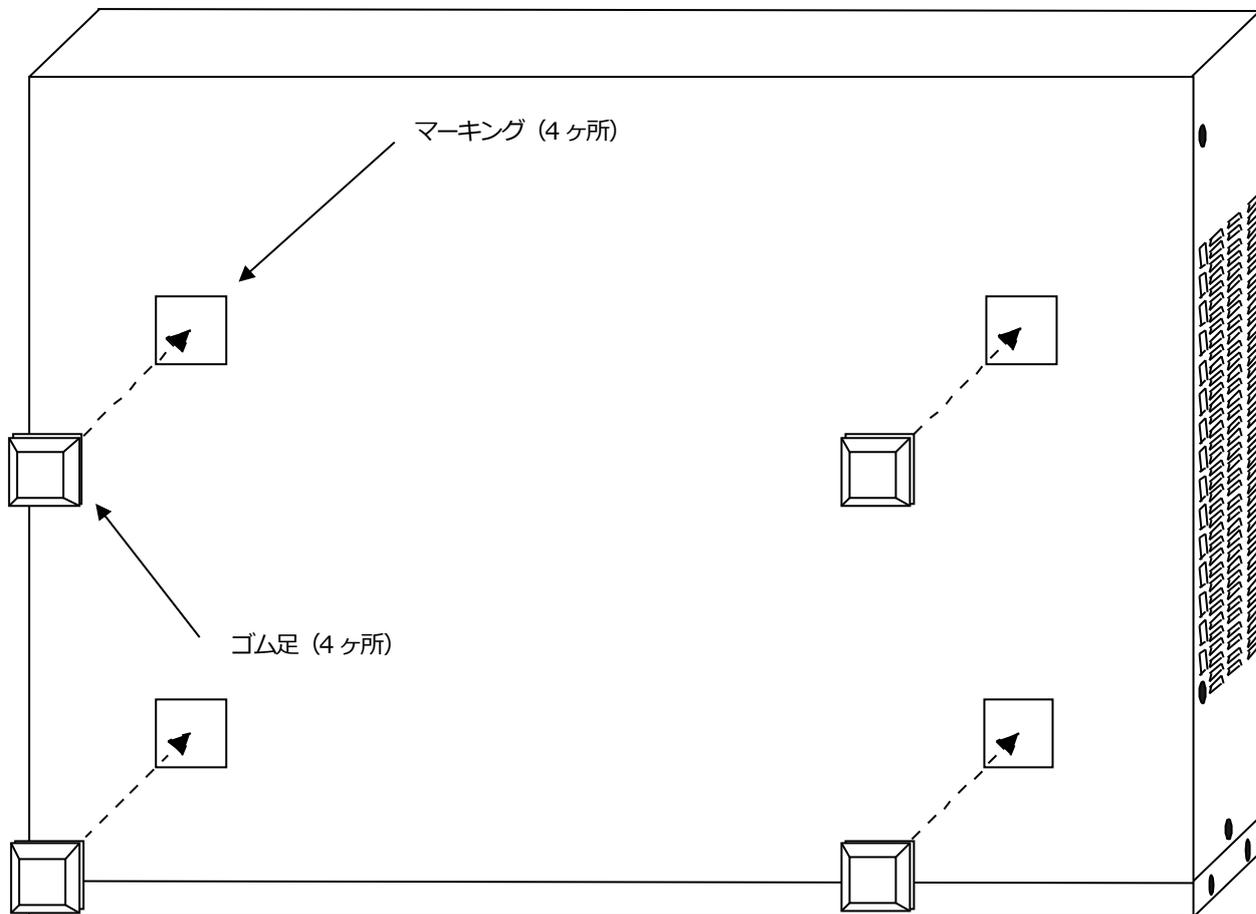


図 7 ゴム足の貼り付け

3.3.2 ラック搭載

ラック搭載とは、ラックにオプションの専用金具を使い装置を設置する方法です。対象ラックは19インチラック（インチ系、ミリ系）です。詳しくは、「ラックへの取り付け方法」を参照してください。

【注 意】このオプション金具はVC2404GE 設置専用です。19インチラック設置以外の目的で本金具を使用され、当社製品の不具合により、人身事故、火災事故、社会的な損害等が生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。

以下は、本装置のラック搭載例です。

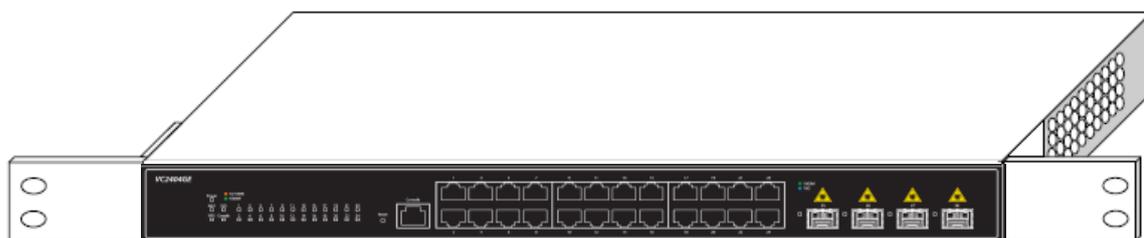


図 8 ラックへの搭載例

・ラックへの取り付け方法

19インチラック取付用金具（以下 取付用金具）を本装置にネジ止めします。取付用金具は左右対称ですので、方向性はありません。

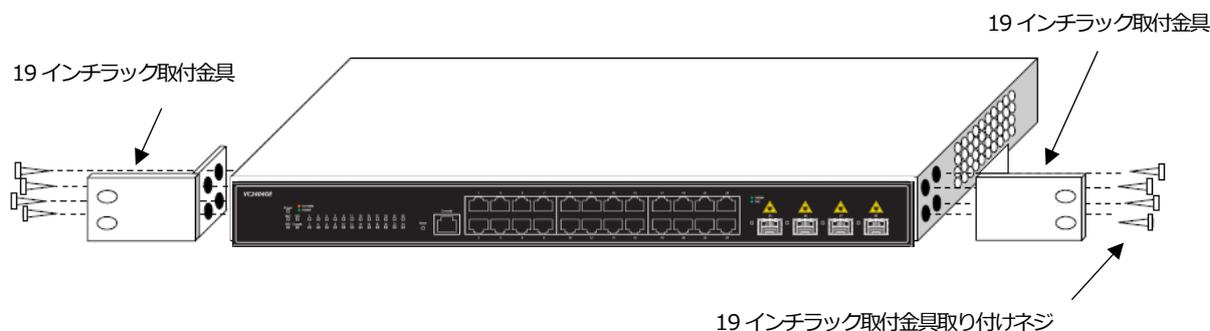


図 9 19インチラック取付用金具の取付方法

- ・ インチ系ラックへの取り付け
インチ系ラックへの取り付け手順を以下に示します。

⚠ 注意	
	取り付けの際は、以下の注意事項をお守りください。 <ul style="list-style-type: none">・ 安全を考慮し、必ず二名以上で搭載してください。・ 積み重ねて設置しないでください。・ 本装置を 2 台以上搭載する場合や、他の装置と同時に搭載する場合には、上下 1U 以上間隔を開けて搭載してください。・ 19 インチラック搭載時の温度条件は「0～35℃」になります。

<インチ系ラックへ 1 台取り付ける場合>

取付用金具の一番上と一番下の取り付け穴（各 2 箇所）を使用して取り付けます。

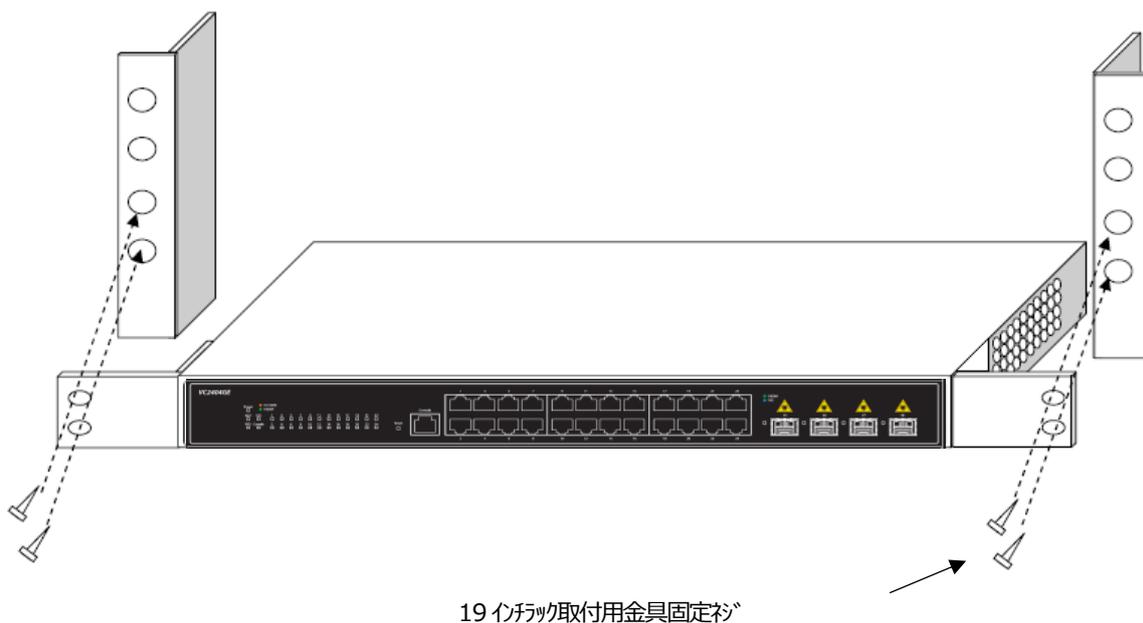


図 10 19 インチ系ラックへの取付方法

3.4 装置の立上げ

本装置は、電源投入後 セルフテスト・初期化立上げなどを行います。このとき、通常状態になるまでには1分程時間がかかります。

【注意】本装置の電源投入後、通常状態となるまで（約1分）は電源を切らないでください。誤動作の原因となることがあります。

第4章 装置管理機能へのアクセス

本装置の設定変更等を行う管理機能はシリアルコンソール又は TELNET によりアクセスが可能です。設定方法を以下に示します。

4.1 設定手順

4.1.1 設定の準備

本装置のネットワーク設定をするためには、まず以下のように設定用パソコンと Console ポート又は Ether ポートとの接続を行います。

(Ether ケーブルは添付していません。別途準備願います。)

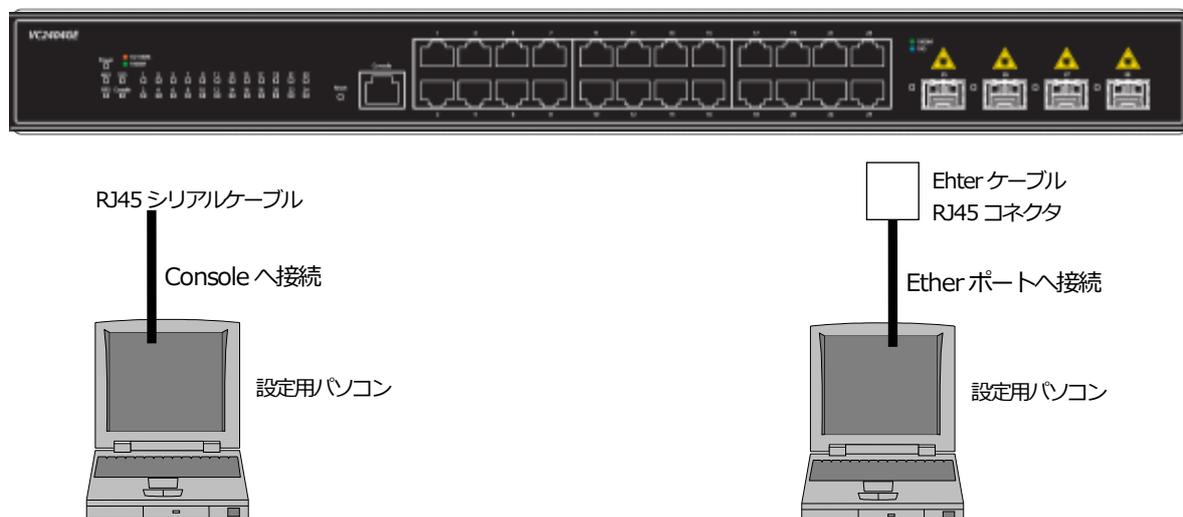


図 11 シリアルケーブル接続

4.1.2 シリアルコンソールによるアクセス

シリアル接続したパソコンにて装置ログインするための、ターミナルソフト設定方法を説明します。

【注意】以下 設定用パソコンには、基本ソフト(OS)がインストールされていることを前提とします。基本ソフト OS やターミナルソフトによって、実際の画面設定が多少異なりますのでご注意ください。

ターミナルソフトの設定

通信速度 : 115200bps
データビット : 8bit
パリティ : なし
ストップビット : 1bit
フロー制御 : なし

ターミナルソフトでアクセス後、下記 UserName/PassWord を入力してください。

U s e r N a m e : a d m i n
P a s s W o r d : a d m i n

4.1.3 TELNETによるアクセス

シリアル接続したパソコンにて装置ログインするための、ターミナルソフト設定方法を説明します。

初期IPアドレス : 192.168.169.1/24
UserName : admin
PassWord : admin

4.1.4 接続セッション数

本装置への接続セッション数は、最大8セッションに規定されています。

VC2404GE
ユーザーズマニュアル
(取扱説明書)

株式会社 OA 研究所
2020年 7月 第1版

(禁無断複製)
